

悪性リンパ腫

リンパ節の腫れに気づいたら



徳島大学病院
血液内科 副科長・講師
賀川 久美子 氏

リンパ節は、首、腋の下、脚の付け根などの体の表面に加え、体の深部など、全身に存在します。感染症などの際にはリンパ節が腫脹し、痛みを伴うしこりとして触ることがあります。一方、感染症状などがないのにリンパ節が腫れている場合は、注意が必要です。痛みを伴わず、徐々に大きくなるリンパ節は、悪性リンパ腫などの腫瘍の可能性があります。悪性リンパ腫は、リンパ節腫脹のほか、発熱、体重減少、寝汗などを伴うこともあります。また、胸やお腹の深部でリンパ節が腫れた場合は、表面から触れることができないため、CTやPET/CTなど画像での診断が大事になります。健診で偶然発見されることもあります。痛みを伴わないリンパ節の腫れに気づいたら、病院の受診をお勧めします。



徳島大学病院がん診療連携センター

お問い合わせ がん診療連携センター：Tel.088-633-7312
<http://www.tokudai-ganrenkei.jp>



がん相談支援センター

相談窓口 Tel.088-633-9438

徳島がん対策センター

<http://www.toku-gantaisaku.jp>